#### 第11回加西市公共交通活性化協議会 次第

日 時 平成25年1月29日(火) 14時~ 場 所 加西市役所 多目的ホール

- 1 開 会
- 2 協議事項
  - (1) はっぴーバス実証運行結果報告について
  - (2) はっぴーバス本格運行への移行について
  - (3) 平成25年度の協議会の取り組みについて
- 3 その他
- 4 閉 会

## 事前配布資料一覧

資料 1	はっぴーバス実証運行結果報告書(案)・・・・・・・・P3
資料 2	はっぴーバス利用想定に対する実態把握・・・・・・ P15
資料3	本格運行の枠組み(案)・・・・・・・・・・・P21

※その他の資料については当日にお渡しします。

## 当日配布資料一覧

資料 4	第 11 回加西市公共交通活性化協議会出席者名簿	•	•	•	•	• P	, 3
資料 5	加西市公共交通活性化協議会構成員名簿・・・・		•	•		• F	' 5
資料 6	はっぴーバスの実証項目と評価・・・・・・・		•	•		• F	7
資料7	加西市公共交通総合連携計画(抜粋)・・・・・・					. F	) G

# はっぴーバス 実証運行結果報告書

平成25年1月
加西市公共交通活性化協議会

#### 1. 導入目的

第6回加西市公共交通活性化協議会 (平成22年12月) における「地域主導の新たな公共交通の実 証運行」の事業目的より

加西市公共交通活性化協議会では、西在田地区及び在田地区の一部の住民に対し、通院・買い物 等の日常生活の足を充実させ、さらに地域の活性化を推進するため実証運行を1年間実施する。

今回の試みは、地域住民の意向を基に地域のNPOが運行計画を策定し、地域の運行事業者が運行計画策定段階から地域住民やNPOと連携することによって、マイバス意識の高い地域主導型のバスとすることを目指す。

#### 2. 導入経緯

平成20年 3	3月	加西市公共交通総合連携計画を策定し「新たな交通システムの導入計画策定
平成22年 7	7月	第5回加西市公共交通活性化協議会において西在田地区及び在田地区の一部
		に新たな公共交通を導入することについて決定
平成22年10	月	運行事業者決定
平成22年12	2月	第6回加西市公共交通活性化協議会においてはっぴーバス事業計画承認
平成23年 2	2月	はっぴーバス実証運行開始
平成23年 9	月	運行事業者が道路運送法第4条の一般乗合旅客自動車運送事業の許可を得て
		有償運送を開始
平成24年11	月	予備車を設置

#### 3. 運営体制

運営事業者 加西市公共交通活性化協議会

運行計画策定等事業者 NPO法人原始人の会運行事業者 加西親栄自動車有限会社

## 4. 実証運行概要

①平成23年2月1日 (無償運行開始)

●運行形態 定時定路線運行

●車 両 数 15人乗りコミューター2台

●運 賃 無料

●系統情報

系統名	バス停数	便数	市街地方面接続便	備考
	(のべ数)		(概ね 15 分以内の便)	
万願寺線	35 (51)	6 便/日	行き:3便・帰り:4便	内1便は芥田線経由
若井線	25 (35)	6 便/日	行き:2便・帰り:4便	
芥田線	19 (30)	6 便/日	行き:2便・帰り:3便	内1便は万願寺線経由
根日女の湯線	4 ( 7)	6 便/日		内4便は片道運行

#### ②平成23年4月4日 (バス停増設)

●系統情報 (表中の※印:変更箇所)

・若井線に「溝口」バス停を新設

系統名	バス停数	便数	市街地方面接続便	備考
	(のべ数)		(概ね 15 分以内の便)	
万願寺線	35 (51)	6 便/日	行き:3便・帰り:4便	内1便は芥田線経由
若井線	<b>※</b> 26 (37)	6 便/日	行き:2便・帰り:4便	
芥田線	19 (30)	6 便/日	行き:2便・帰り:3便	内1便は万願寺線経由
根日女の湯線	4 ( 7)	6 便/日		内4便は片道運行

③平成23年9月1日(有償運行開始、バス停新設・休止、ダイヤ変更、ルート変更)

#### ●運 賃 有料

乗車1回250円(小人100円)

回数券: 2, 000円/11枚綴り(1回分お得)

(指定されたバス停での乗り継ぎについては1回分運賃で乗車可)

- ●系統情報(表中の※印:変更箇所)
  - ・万願寺線の「工和自動車前」「河瀬益夫宅前」「高井敏郎宅前」バス停を休止し「交流館」バス停を新設してルート変更
  - ・若井線の「大内中」バス停を休止しルート変更
  - ・ダイヤ変更により若井線における中富口バス停での接続便数変更
  - ・万願寺線・芥田線の統合系統を増設

系統名	バス停数	便数	市街地方面接続便	備考
	(のべ数)		(概ね 15 分以内の便)	
万願寺線	<b>※</b> 33 (47)	6 便/日	行き:3便・帰り:4便	※内3便は芥田線経由
若井線	<b>※</b> 25 (35)	6 便/日	※行き:3便・帰り:3便	
芥田線	19 (30)	6 便/日	行き:3便・帰り:3便	※内3便は万願寺線経由
根日女の湯線	4 ( 7)	6 便/日		※内1便は片道運行

#### ④平成24年4月(ダイヤ変更、ルート変更)

- ●系統情報(表中の※印:変更箇所)
  - ・万願寺線の「大谷」バス停を休止し「工和自動車前」バス停を再開してルート変更
  - ・芥田線、根日女の湯線の便数を変更
  - ・パターンダイヤの導入と運行ルート統一化
  - ・ダイヤ変更により若井線における中富ロバス停での接続便数変更

系統名	バス停数	便数	市街地方面接続便	備考
	(のべ数)		(概ね 15 分以内の便)	
万願寺線	<b>※</b> 33 (48)	6 便/日	※行き:4便・帰り:4便	※内1便は芥田線経由
若井線	25 (35)	6 便/日	※行き:3便・帰り:4便	
芥田線	19 (30)	※5 便/日	※行き:1便・帰り:3便	※内1便は万願寺線経由
根日女の湯線	4 ( 7)	※5 便/週		

#### 5. 住民告知等

#### ●時刻表発行

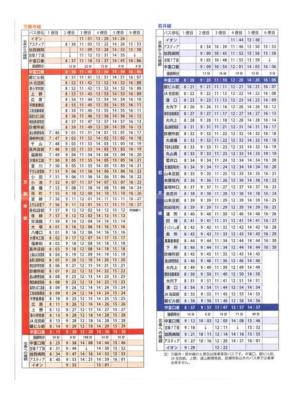
発行時期 平成23年2月、4月、9月、平成24年4月

部 数 各 2,000 部

沿線全世帯配布(約1,100件)、公共施設設置、市ホームページ掲載 他に民間運営の時刻表検索サイトにも対応









#### ●はっぴーバスニュース発行

発行時期 平成23年7月

沿線全世帯回覧(約1,100件)

内 容 乗車懇談会状況、有償化告知ほか





など、少しでも不安があ 、まずはお電話ください。 も結構です。 も結構です。

地元の団体 (原始人の会) 立ち上げ、地元のバス会社(加 立ち上げ、地元のバス会社(加 立ち上げ、地元のバス会社(加 西観栄自動業)が運行する はのピゾバス。 で無外期間の多数を、両在 田・在田地区の下りもたちに 日・体験で15 したり表してい ます。夏休み期間の多月末ま で無料期が続きますので、 が多な人、おはめらやんと、 別は、夏水の大地のからやんと、 いちや人・おばめらやんと、 いちや人・おばめらやんと、

## 平成23年7月1日発行平成26年7月1日発行 東京 加西市北条町橋三〇〇 加西市北条所務営 電路(42)8700

いてくださいが、 が、

始といたします。 は が、無料期間を8月末まで延 が、無料期間を8月末まで延 で が、無料期間を8月末まで延 で が、無料期間を8月末まで延 で が、無料期間を8月末まで延 で が、無料期間を8月末まで延 で が、無料期間を8月末まで延

**夏休みは** 

14月にお配りした「は4月にお配りした」は

#### ●イベント (NPO法人原始人の会主催)

平成23年1月30日 はっぴーバス誕生記念式典



#### 平成 24 年 2 月 19 日 はっぴーバスー周年祭り



#### 6. 意識調査(住民アンケート)

#### 【運行前調査】

実施時期 平成23年1月

配布部数 817世帯 (西在田全町、在田地区上芥田町・下芥田町)

回答数 691人/361世帯

回 収率 44% (世帯ベース)

#### 【運行開始後調査】

実施時期 平成23年4月

配布部数 590人/271世帯

回答数 33%(世帯ベース)



#### 7. 乗車懇談会

#### 【第1回】

開催日 平成23年5月14日

場 所 JA兵庫みらい西在田支所跡

参加者数 44人

内 容 はっぴーバス(事業)のしくみ、住民アンケート結果報告、有償化の運賃について

#### 【第2回】

開催日 平成23年11月12日

場 所 JA兵庫みらい西在田支所跡

参加者数 38人

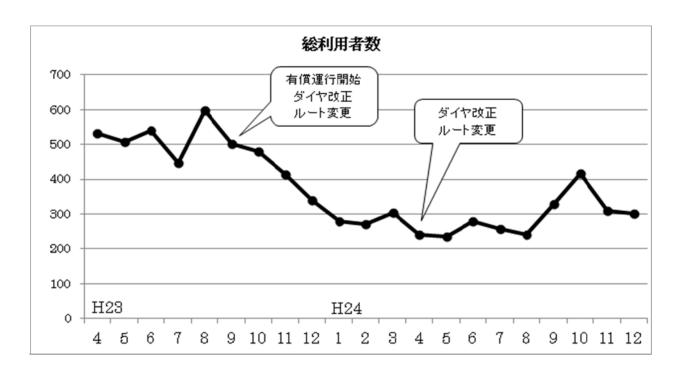
内 容 利用状況報告(利用者数、回数券利用状況)、今後の取り組みについて

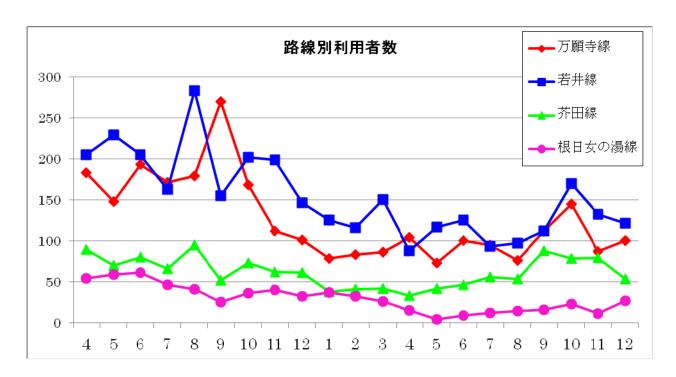


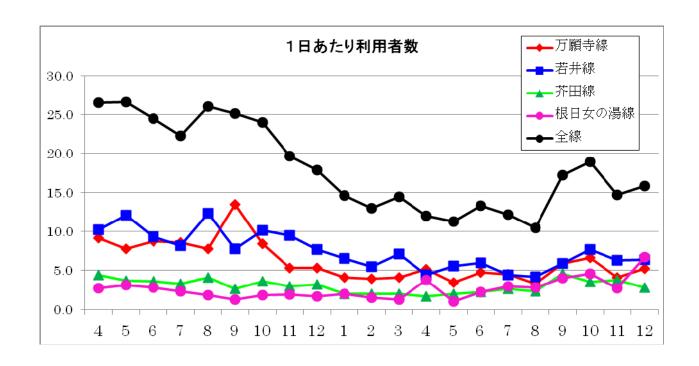
## 8. 訪問活動

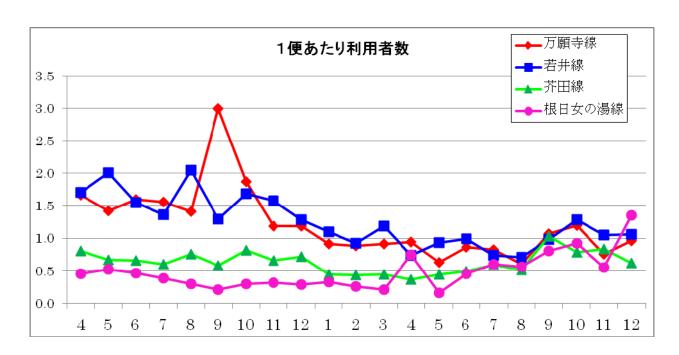
別紙 資料2

#### 9. 利用実績









#### 10. 今後の課題

#### 〇継続的な利用促進活動

NPOによる訪問活動によって、沿線の潜在利用者の現状はある程度把握できた。しかしながら、世代の入れ替わりに伴う継続的な活動が求められる。今後、団塊世代の高齢化が進むことに伴い、高齢者の交通事故問題が大きくなるとともに、公共交通に対する潜在需要は高まると考えられるため、引き続き住民・事業者・行政の協働による意識啓発と利用促進活動が求められる。

#### ○運営体制の強化

はっぴーバス事業は、行政ではなく地元NPOが主となって住民の意見を反映した運行を行うことに特色があり、この存在は必要不可欠である。一方、一般乗合旅客自動車運送事業として道路運送法や道路運送車両法等の厳しく複雑な法規制を踏まえた運営運行管理や、運営者としての事業リスクの負い方等、中長期的な視点を要する課題もある。現在の市・協議会・NPO・運行事業者による協定の期間内において、地域住民が課題を共有し地域住民の意見が反映できる運営運行を行う最適の運営体制について検討する必要がある。

#### 〇運行内容の改善

利用者の世代とニーズは常に変動するため、地域内での議論を活発にし、地域内で合意形成された意見を運行に反映できる仕組みを強化する必要がある。(運行ルート、バス停の改廃、ダイヤ改正、フリー乗降制度、市コミュニティバス・路線バスとの連絡運賃導入等)

また、加西市公共交通総合連携計画において謳っている西在田・在田地域の新たな公共交通 の市街地乗り入れについて、北部地域を含む市全体として最適な交通体系となるよう以下の方 針で検討を進める。

- ・市街地乗り入れ可否ではなく、加西市全体(特に北部)の公共交通体系を考える一つの材料として検討を進める。
- ・市北部の基幹線である路線バス「アスティアかさい一大和線」は行政(県及び市町)からの補助を受けて成り立っているが、利用状況は厳しさを増しており、他路線との接続等による利用者確保が重要な課題となる。
- ・上記を踏まえながら、市街地への利便性強化として、路線バスとの接続向上や乗り継ぎ運 賃の設定、市街地乗り入れ等の可否を平成25年度中に決定する。

#### 〇市全体の公共交通充実に向けて

はっぴーバス実証運行において、利用者想定とその効果測定、コストの考え方、行政の支援 方法等について、大きな経験を得ることができた。

今後、交通難民の有無、交通弱者の移動状況等を踏まえつつ、この実証運行の経験を活かしながら、市全体としてバランスのとれた公平性のある交通体系となるよう整備を進める。

#### 1. 訪問活動内容

〇期 間 平成24年6月~11月

〇体 制 NPO法人原始人の会 会員3名による分担

○範 囲 はっぴーバス主要沿線地域(西在田地区全町、在田地区上芥田町・下芥田町)

〇対象者数 267人(平成22年調査時の推計値)

〇件 数 230件

#### 2. 訪問活動結果

数値の調査方法	H22 区長・民生児童委員等の見解を基にした推計値
数吨07前重기法	H24 訪問活動による実態値
ランク	A···常に利用、 B···状況により利用
	C・・・当面利用見込なし(人口からABを差し引いた計算値)
対象人数	H22 H21.3.31時点の65歳以上人口
<b>对象八</b> 数	H24 H24.5.31時点の65歳以上人口

ランク 項 目	実施 時期	Aランク	Bランク	小計	Cランク	合計
上万願寺町	H22	22	26	48	42	90
上刀腕守山	H24	10	19	29	51	80
  下万願寺町	H22	9	14	23	66	89
「プル限・守田」	H24	2	19	21	70	91
上 道山町	H22	10	30	40	83	123
工造田町	H24	10	7	17	104	121
下道山町	H22	1	4	5	74	79
	H24	1	4	5	77	<i>82</i>
上若井町	H22	11	18	29	53	82
上石升叫	H24	12	15	27	50	77
下若井町	H22	2	22	24	138	162
T'A T'EJ	H24	10	10	20	142	162
大内町	H22	7	30	37	30	67
7(P1m)	H24	6	18	24	52	<i>76</i>
上芥田町	H22	0	25	25	50	75
工力 田町	H24	7	4	11	64	<i>75</i>
下芥田町	H22	13	23	36	42	78
т л ш ш	H24	4	20	24	56	80
	H22	75人	192人	267人	578人	845人
計	H24	62人	116人	178人 (死亡:22人) (C:67人)	666人	844人

#### 3. ランク移行推移

	H22		H24	訪問活動結果	
運行	前推計	移行:	先		
Aランク 7	75人	Aランク Bランク Cランク他	34人 29人 12人	▲ Aランク	62人
Bランク 19	92人	Aランク Bランク Cランク他	28人/ 87人- 77人	Bランク	116人

#### 4. 訪問時の利用者及び住民の声

→「はっぴーバス訪問調査時の住民の声」

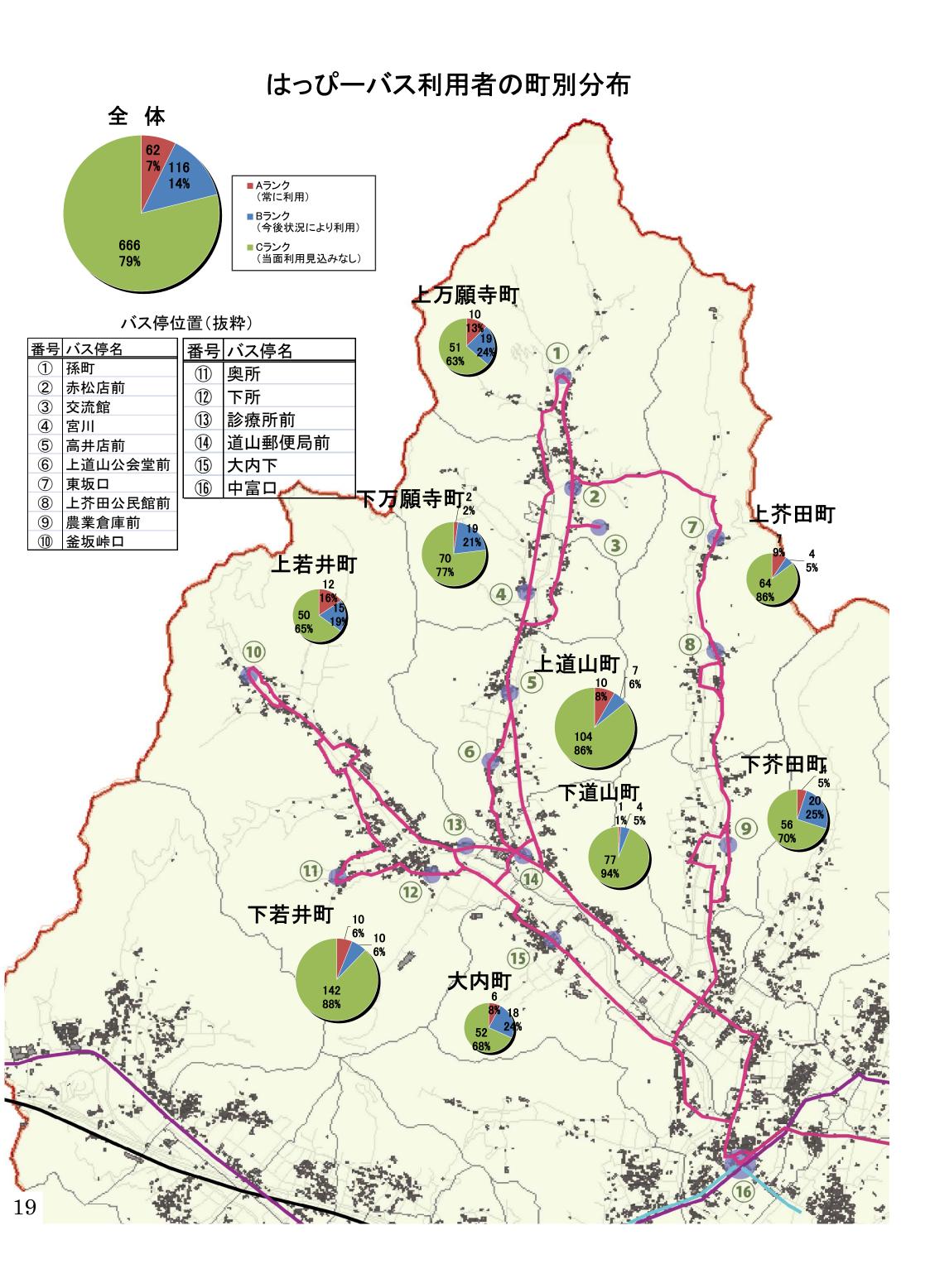
#### 5. 今後の進め方

当初推計値においては、住民本人の意思ではなく、各町民生委員等の予測に基づく推計であったため、町によって推計値に差があったが、今回の訪問調査によって、ある程度実態が把握できた。

Aランクは実際の利用者かつ受益者であるので、この方々のご意見を反映できる 仕組み作りは、乗車懇談会や利用者アンケートによって継続しなければならない。 Bランクは当初推計値よりもかなり少なく、潜在顧客は少ないように見えるが、今 回調査を行っていないCランクの中にもはっぴーバスの利用者は存在する。今後は 全体調査と詳細調査をバランスよく計画的に行う必要があると考えられる。

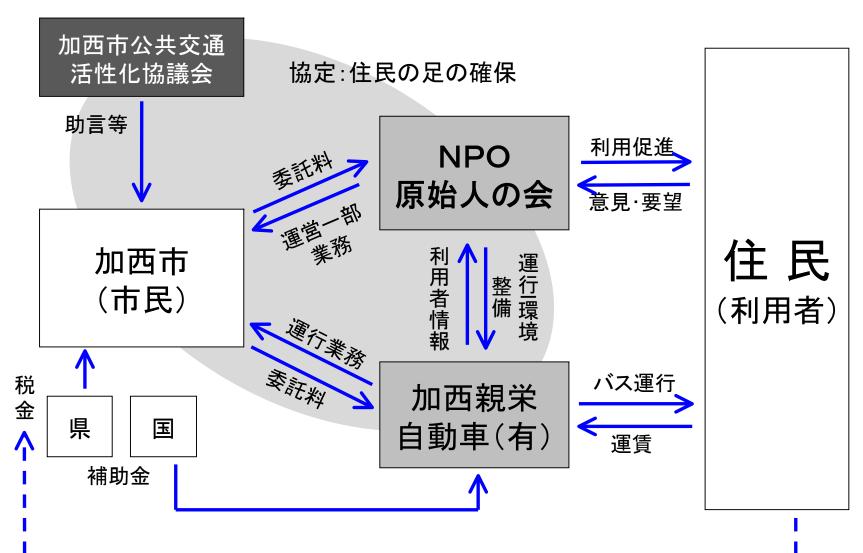
### はっぴーバス訪問調査時の住民の声

No	回    答	件数
1	北条の市街地へ直接行って欲しい、乗換が大変で面倒くさい	84
2	今は家族に送迎してもらっている	62
3	よく利用している本当にありがたい(内容が良く分かったので是非利用したい)	62
4	原始人会でイベントが有れば是非連絡をしてほしい参加する	31
5	今は主人に乗せてもらっているが、主人が運転出来なくなればバスを利用する	28
6	今は車に乗れるので良いが、乗れなくなれば必要になる	24
7	バスを利用したいがルート違いで利用出来ない(市内の充実・青野ヶ原病院等)	12
8	付き添えが必要(足が弱く一人でバスに乗れない等)で家族に送迎してもらっている	9
9	料金問題(高い・従量制)	6
10	朝一番のダイヤが遅すぎる	6
11	根日女線を水曜日以外にも設けて欲しい	5
12	車の運転が出来なくなれば家族に送迎してもらう	5
13	お家には居られるが(会話不能等で)対応が出来ない	5
14	対象者(死亡・施設入院等)で対象者が居ない	5
15	免許書を返納したので今後は利用するかもしれない	5
16	今は自転車で間に合っている	3
17	今はタクシーを利用しておりバスの利用は全く考えていない	3
18	今は単車に乗れるので良いが、乗れなくなれば利用する	2
19	今は親戚・友人に送迎を依頼している	2
20	根日女線の時間帯を前回に戻して欲しい	2
21	買物の荷物が持てないので家族に送迎してもらっている	2
22	当面は車で対応する、バス利用は考えていない	2
23	高速道のバス停(北条)に行って欲しい	1
24	バスの時刻に合わない場合のみ娘に送迎を頼んでいる	1
25	若井の診療所へ行く時間が上手くいかない	1
26	近く福祉施設に入ることになっている	1
27	小学校の通学に利用出来ないでしょうか(八千代は非常に手厚く僻地でも問題を感じていない)	1
28	コープが配達をしてくれるので出掛けなくても済む	1
29	その他	2
	合 計	373





## 本格運行の枠組み(案) 平成25年4月移行



## 第11回加西市公共交通活性化協議会 出席者名簿

平成25年1月29日

		平成25年1月29日
区 分	所 属 ————————————————————————————————————	氏 名
委員 (会長)	加西市 副市長	大 豊 康 臣
	加西市議会 総務委員長	高 橋 佐代子
(議 長)	京都大学大学院工学研究科 特定教授	土 井 勉
	国土交通省近畿運輸局 企画観光部 交通企画課長	係長 小 篠 祥 幸
	国土交通省神戸運輸監理部兵庫陸運部 首席運輸企画専門官	新屋敷 昭 一
	兵庫県北播磨県民局 加東土木事務所長	主幹(企画調整担当) 鵜 崎 尚 夫
	兵庫県加西警察署長	交通課長 潮 見 龍 一
	神姫バス株式会社 バス事業部長	計画課長 野 田 年 洋
	神姫バス労働組合 副委員長	(欠 席)
	北条鉄道株式会社 総務企画部長	(欠 席)
	兵庫県バス協会 専務理事	中澤秀明
	兵庫県タクシー協会 理事	宇高昌利
(監査委員)	加西市区長会長	小路重徳
	加西市老人クラブ連合会 会長	丸 岡 肇
(監査委員)	加西商工会議所 会頭	専務理事 後 藤  勇
	株式会社加西北条都市開発 専務取締役	(欠 席)
	NPO法人原始人の会 理事長	池田孝一
	加西市ふるさと創造部長	小 川 輝 夫
	加西市地域振興部長	森井和喜
	加西市都市整備部長	木下義視
専門委員	神戸大学大学院工学研究科 教授	(欠 席)
オブザーバー	国土交通省近畿運輸局 鉄道部 計画課長	(欠 席)
	国土交通省近畿運輸局 自動車交通部 旅客第一課長	(欠 席)
	兵庫県県土整備部県土企画局 交通政策課 副課長	登 日 幸 治

## 加西市公共交通活性化協議会 構成員名簿

平成25年1月25日現在

区分	所 属 - 役 職	氏	名		
委員 (会長)	加西市 副市長	大豊	康臣		
	加西市議会の代表	高橋	佐代子		
(議長)	京都大学大学院 工学研究科・医学研究科 特定教授 (学識経験のあるもの)	土井	勉		
	国土交通省近畿運輸局 企画観光部交通企画課長	加納	陽之助		
	国土交通省神戸運輸監理部兵庫陸運部 首席運輸企画専門官	新屋敷	昭一		
	兵庫県北播磨県民局 加東土木事務所長	尾原	勉		
	兵庫県加西警察署長	菅 野	利 郎		
	神姫バス株式会社 バス事業部長	中野	浩 二		
	神姫バス労働組合の代表	中川	貴 水		
	北条鉄道株式会社 鉄道部長	山本	正憲		
	兵庫県バス協会の代表	中澤	秀明		
	兵庫県タクシー協会の代表	宇高	昌利		
(監査委員)	(監査委員) 加西市区長会 会長				
	加西市老人クラブ連合会 会長	丸 岡	肇		
(監査委員)	加西商工会議所 会頭	千 石	唯司		
	株式会社加西北条都市開発 専務取締役	安井	宥 司		
	市民公募(NPO法人原始人の会 理事長)	池田	孝一		
	加西市ふるさと創造部長	小 川	輝夫		
	加西市地域振興部長	森井	和喜		
	加西市都市整備部長	木下	義 視		
専門委員	神戸大学大学院工学研究科 教授 (学識経験のあるもの)	喜 多	秀行		
オブザーバー	国土交通省近畿運輸局鉄道部 計画課長	山本	勝		
	国土交通省近畿運輸局自動車交通部 旅客第一課長	阪部	光雄		
	兵庫県県土整備部県土企画局交通政策課 副課長	登 日	幸治		

#### はっぴーバスの実証項目と評価

#### 【実証項目】

No	目 的	施策	実施時期	結果
1	はっぴーバスの認知度向上	運賃無料期間の設定	H23. 2~8	・沿線温泉施設との連動キャンペーン(2~3月)の
		・2月の運行開始から8月まで7ヵ月間実		効果も出て、利用者数は順調に推移。
		施(当初計画よりも1ヵ月延長)。		2~3月 935.5人/月
		・沿線の温泉施設も連携施策を投入。		4~8月 524.0人/月
2	利用者意見を反映した運行計画の策定	住民意見を参考にダイヤ・ルートを変更	H23. 9	・便によって運行ルートが違うため、利用者に分かり
	(平成23年9月)	・利用者等の意見を参考に、きめ細かなダ	∼H24. 3	づらい。
		イヤ設定。		・余裕の無いダイヤで、接続遅れ等による便の遅れが
				以降の便に影響。
3	有償化の効果測定と適正運賃の設定	運賃設定と回数券方式の導入	H23. 9	・有償運行開始後に利用者数は減少。
		・乗車1回250円。一部乗継券利用可。		・定期的な利用者は回数券を継続利用。
				・中富口(発着点)に近い住民は利用者少。
				4~8月 524.0人/月
				9~翌年8月 320.0人/月
4	利用者意見を反映した運行計画の策定	住民意見を参考にダイヤ・ルートを変更	H24. 4∼	・利用者が分かりやすい。
	(平成24年4月)	・パターンダイヤの導入。		・ダイヤ改正によって不便になった利用者や地域が発
		・発着に時間的余裕のあるダイヤ設定。		生。
		・市コミバスとの連動改正。		・市街地直通の声が多数。
		・根日女の湯線の運行日数減。		

#### 【評 価】

はっぴーバスは、地元NPOによって企画立案され、それを行政がサポートするという今までにない形の事業であり、実証運行を通してその最適な事業スキームを検討してきた。地域の意見のとりまとめ役としてのNPO、資金面や法的対応、事業者調整等でサポートする行政、安心安全に運行する運行事業者、そしてそこに助言をする協議会と、それぞれが役割を分担するこの事業スキームの有効性、機能性が概ね確認できた。また、上記実証結果や訪問活動による利用者実態の把握から導き出された課題についても実証運行の大きな成果と捉えることができる。

## 第 5 章 加西市公共交通総合連携計画

## 第1節 計画の概要

#### 1 課題

西

加西市の交通をとりまく現状、交通に対する住民が抱える課題、実験運行結果から以下の ような現状と課題に整理できます。

#### < 加西市の交通をとりまく現状と課題 >

- 人口減少、高齢化の進展(P.2)
- 都市核, 地域核以外は低密に広がる居住地(P.2)
- 10年で2倍以上増加している高齢者ドライバーの自動車事故(P.3)
- *加西市民の移動は過度に自動車に依存* (P.4)
- 利用者の半数以上を学生が占める北条鉄道(P.5)
- 運行開始当初の平成 12 年から利用者が半減したコミュニティバス市街地循環線(P.6)
- 年間 2,000 人程度と非常に少ない利用であるコミュニティバス郊外線(P.6)
- 利用者が減少傾向にある路線バス (P.7)
- *加西市民の約7割が公共交通利用が不便な地域に居住*(P.9)
- <u>自動車を気軽に利用できない人(移動制約者)は市民の約4割</u>を占め、約18,000人(P.10)
- *送迎してもらっている移動制約者は約 1,700 人/日* (P.10)
- 公共交通に対する行政補助額は、市民1人あたり約1,000円/年に相当(P.11)
- 公共交通利用の可能性がある高齢者は約5,400人(P.14)
- 1日あたりの公共交通利用の可能性がある高齢者は約600人/日(P.15)
- 高齢者の需要がある施設は主に加西病院、イオン、アスティアかさい(P.15)
- 公共交通が不便なことで困っている高齢者は現在で約 1,100 人 (P.15)
- このままでは約 1,400 人に増加する公共交通が不便なことで困る高齢者(P.15)
- 普段の移動で困っていることに関する高齢者の意見 (P.16)
  - ・ 送迎してもらうのではなく、1人で行きたいが利用できる公共交通がない
  - ・送迎してくれる人がいない高齢者は、買い物や通院に困っている
  - · クルマがないと移動(生活)できない
- 公共交通に対するニーズに関する高齢者の意見(P.16)
  - ・加西病院まで乗り換えなしで行きたい
  - ・曜日限定にしたり、小さい車両にしてでも1日の運行本数を増やしてほしい
  - ・ せめて1日に3便ほしい、2便だと行き帰りの時間が完全に限定されてしまう
- 送迎してもらうことに抵抗を感じている人が半数以上(P.21)
- 送迎者の約4割が感じている送迎負担(P.21)
- コミュニティバスを利用している実際の人数の増減はほとんどなし(P18)
- 郊外線の曜日限定1日3便運行は、運行日あたりの平均利用者数は増加したもの の、総利用者数は微減(P.18)
- 便利と不便の意見が分かれた「市街地循環線の右回り・左回り」(P.19, P.21)
- 便利と不便の意見が分かれた「郊外線の曜日限定1日3便運行」(P.19, P.21)

資料 7

加西市の交通はクルマに過度に依存した地域であるにも関わらず、クルマを気軽に利用で きない人が市民の約4割(約18,000人)を占めており、公共交通が不便なことで困って いる高齢者は現在においても約 1,100 人います。高齢化の進展により、クルマを気軽に利 用できない人や、公共交通が不便なことで困る高齢者は今後もますます増加するものと予想 されます。

本計画では、*クルマを気軽に利用できない人の移動を公共交通で確保する*ことで市内・ 市外の移動の自由度を高め、活発な交流に基づく中心市街地の活性化 を目的として、公共 交通体系の整備をすすめます。

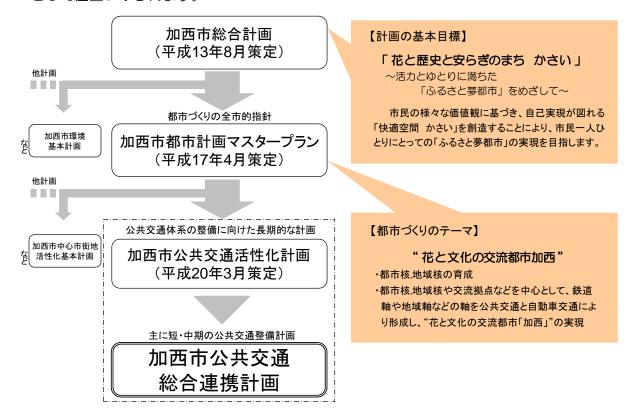
このことにより、クルマを気軽に利用できない人だけでなく、送迎している人の負担の減 少にもなり、多くの市民に貢献できるものと考えます。

#### 3 計画の位置づけ

2 計画の目的

加西市におけるまちづくりに係わる計画として「加西市総合計画」「加西市都市計画マス タープラン」があります。この上位計画に基づき、公共交通体系の整備に向けた長期的な計 画として、「加西市公共交通活性化計画」を平成20年3月に策定しました。

本計画は、この「加西市公共交通活性化計画」を受けた*主に短・中期の公共交通整備計画* として位置づけられます。



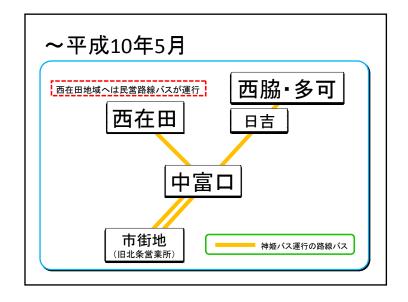
#### 4 計画の区域

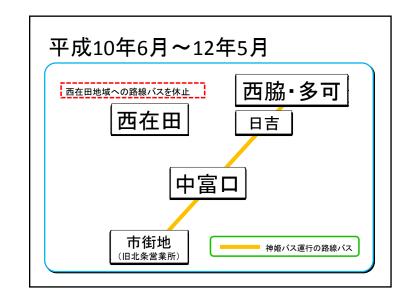
加西市内全域を対象とします。

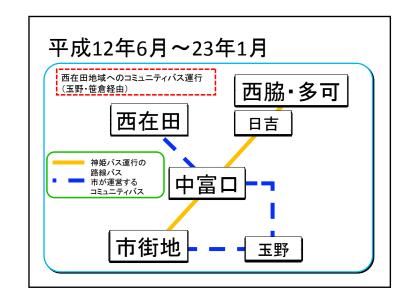
#### 5 計画の期間

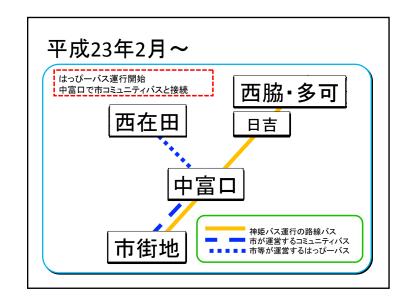
平成21年4月~平成26年3月

する住民が抱える課









平成24年度 公共交通にかかる市の負担額(見込み)

公共交通機関	運行路線・補助内容等	市負担額 (※1)	他の行政負担			行政負担
ムバス畑派内			围	県	その他	計
KASAI ねっぴ~号	市街地線・国正線・青野原病院線	20,045 千円		438 千円		20, 483 千円
はっぴーバス	万願寺線・若井線・芥田線	9,844 千円	2, 624 千円	172 千円		12,640 千円
	姫路駅前~山田~北条	267 千円	801 千円	534 千円		1,602 千円
	姫路駅前~大貫~北条	95 千円	286 千円	191 千円		572 千円
	姫路駅前~猫尾~社	749 千円	2, 246 千円	1, 497 千円		4, 492 千円
吸炉 ジュ (**/ 0 )	姫路駅前〜法華山一乗寺〜社	4, 275 千円	2, 543 千円	3, 405 千円		10, 223 千円
路線バス (※2)	姫路駅前〜古法華公園	106 千円		211 千円		317 千円
	アスティアかさい〜嬉野台生涯教育センター	128 千円		254 千円		382 千円
	アスティアかさい〜大和	2, 191 千円		2, 702 千円		4,893 千円
	計	7,811 千円	5,876 千円	8, 794 千円		22, 481 千円
JL 夂 AH `\`	安全輸送整備等	3, 679 千円	7, 440 千円	3, 720 千円	小野市 547 千円	15, 386 千円
北条鉄道	運営費補助	17, 294 千円			小野市 700 千円	17, 994 千円
合 計		58, 673 千円	15, 940 千円	13, 124 千円	1, 247 千円	88, 984 千円

<sup>※1)</sup>市負担額とは、加西市が支出した金額から、市が国・県等から補助を受けた金額を差し引いた実質負担額のこと。

<sup>※2)</sup>路線バスの国・県補助額については、加西市にかかる部分のみの金額であり、他市町にかかる負担は別途あり。